

エンゲージメント

基本的な考え方

考え方

TOPPANグループは、ステークホルダーの皆さまに対して自らの意見を発信し、適切な情報開示を行うとともに、皆さまの声に耳を傾け、建設的な対話を通じて相互理解を深めていくことが重要であると認識しています。また、これを通じて、変化する社会からの要請を把握し、ステークホルダーの皆さまからの多様な期待やニーズを企業活動に反映し真摯に応えていくことで、社会から信頼を得られる企業でありたいと考えています。

今後、グローバルに事業を加速していくTOPPANグループは、グローバルな社会課題の解決に寄与する事業活動を積極的に推進しながら、海外のステークホルダーとの関係性向上も図ってまいります。各国・地域の法令遵守、多様な文化を尊重しながら、グループ全体でエンゲージメント強化の施策を推進してまいります。幅広いステークホルダーの皆さまとの関係構築、維持・向上と協働を通じ、サステナブルな社会の実現を目指します。

活動実績

活動実績・データ

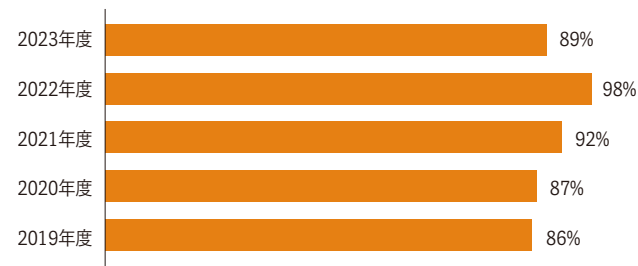
お客さまとのかかわり

TOPPANグループは、創業以来、お客さまのご要望に真摯に対応し、高品質な製品・サービスの開発・提供を通じてご満足いただき、ご信頼をいただけるよう努めてきました。品質の向上と安全性の確保については、全ての工程で品質づくりに取り組む「総合品質保証」の考え方のもと、サプライチェーン全体を通じて取り組んでいます。

また、多様化・高度化するお客さまニーズを迅速に把握し、製品・サービスの改善、改良および開発に積極的に取り組む一方、お客さまの声を製品・サービスの向上に役立てるため、継続的にお客さま満足度調査を実施しています。調査は製品の品質だけでなく、営業・技術などの総合的な視点で構成されています。調査結果は各担当部門にフィードバックし、継続的に改善に取り組むとともに、より質の高いサービスの提供と顧客満足度の向上につなげています。

総合顧客満足度推移(セキュアメディア関連)

(「満足」と「やや満足」の合計)



※ 評価は「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満足」「不満足」の5段階で実施

ビジネスパートナーとの信頼関係構築

TOPPANグループは、持続可能な調達(サステナブル調達)活動を推進するためには、ビジネスパートナーの皆さまとの協力関係、信頼関係が重要かつ必要不可欠であると認識し、ビジネスパートナーの皆さまとの継続的なコミュニケーション強化を図っています。

「TOPPANグループ サステナブル調達ガイドライン」をサプライチェーン全体に周知し、運用し、監査、是正するサイクルを回すプロセスにおいて、ビジネスパートナーの皆さまと継続的に対話し、相互理解を深めています。また、取引の透明性・公平性を高め、より深い信頼関係を築くことを目的に、全てのビジネスパートナーが利用できる通報窓口として「サプライヤーホットライン」を設置しています。さらに、調達部門が「TOPPANグループ サステナブル調達ガイドライン」にある「調達基本方針」に沿った適正な対応ができているかについて、ビジネスパートナーへの聞き取り調査(モニタリング)を実施しています。

2022年9月に公表した「パートナーシップ構築宣言」では、ビジネスパートナーの皆さまとの連携・共存共栄を進め、新たなパートナーシップを構築するための重点項目を定めました。

パートナーシップ構築宣言 >

https://www.holdings.toppan.com/assets/ja/pdf/our-corporate-approach/toppan_s_partnership.pdf

サプライチェーンマネジメント P60参照 >

「人間尊重」「労使パートナーシップ」の考え方

TOPPANグループでは「企業は人なり」という信念のもと、従業員が「やる気」「元気」「本気」で仕事に取り組むことができる環境の整備を進めています。「従業員の健康・働きがい」を第一に考え、事業所ごとに様々な取り組みを労使や健康保険組合などと一体になって行っています。労使共催レクリエーションや健康増進活動も含めた様々なイベントの実施、社内部活動の推進などを通して、コミュニケーションの活性化やグループの一体感醸成に取り組んでいます。



社内部活動



健康増進イベント

従業員エンゲージメント調査を実施

TOPPANグループでは、サステナビリティ経営のあるべき姿として「社会的価値創造企業」を掲げており、その推進におけるマテリアリティのひとつとして「従業員の健康・働きがい」を選定しています。

経営戦略の実現に向けて、従業員エンゲージメントを高める取り組みにより、従業員がやりがいや働きがいを感じ、主体的に業務に取り組める環境を整備し、組織力の維持・向上を目指すことが重要であると考えています。

そこで、従業員エンゲージメントの状況を把握するためのサーベイを2021年度より導入し、グループ会社を含めた45社31,194名を対象に実施しています。このサーベイでは、組織で社員が体験する領域(16領域・図参照)について「期待と実感のギャップ」を調査分析することにより、従業員エンゲージメントを向上させる、または阻害する原因を洗い出し、的確な施策の検討・実施・効果検証することを目

指しています。本調査を通じて明らかになった社員からの声をもとに、各現場へのフィードバック、また改善に向けたプランを検討し取り組みを行っています。また結果を執行役員会議にて共有するなど経営と現場が連携し、組織課題の解決に向けたアクションを推進しています。

2023年度エンゲージメント調査の実施概要

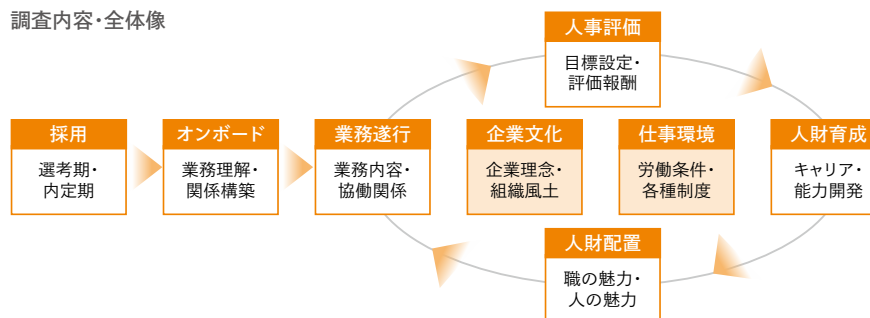
調査対象	TOPPANグループ 45社 社員 31,194名
回答者数 (回答率)	29,252名 (93.7%)
調査期間	2023年11月16日～12月25日
設問内容・ 設問数	業務遂行、人事評価、人財育成、人財配置、仕事環境、企業文化 合計6項目、12領域、108問 ※2023年度入社のみ、採用、オンボーディングの2項目4領域を追加し、合計133問
エンゲージメントスコア	70.1(2021年度比+0.3) 〈新中期経営計画 2025年度中期目標〉 21年度比+5P ※参考スコア 製造業平均69.9 ※当スコアは組織状態を表す指標で、期待/実感がともに高く、ギャップが小さい場合、数値が最大化する(株式会社HRBrain EXIntelligence サービスを利用)

TOPPA!!!TOPPAN FESTIVAL 2024

TOPPANグループ全体の一体感醸成を目的とした施策として、2024年2月に「TOPPA!!!TOPPAN FESTIVAL 2024」を開催しました。「オンラインイベント」と各事業所単位での「リアルイベント」を併用したハイブリッド形式で開催し、アフターコロナにおける新しいコミュニケーションのかたちを体現したイベントとなりました。全国50会場での予選を勝ち抜いたチームによるeスポーツ競技のほか、海外拠点とのeスポーツエキシビジョンマッチ、事業所対抗クイズ大会や子どもを対象としたオフィスでの1日仕事体験等、従業員およびその家族を含め、大いに盛り上がりしました。



調査内容・全体像



株主・投資家とのコミュニケーション

TOPPANグループは、株主・投資家の皆さまとの長期的な信頼関係構築を重要と考え、投資判断に必要な企業情報を適時・公平・継続的に提供しています。また、制度的な情報開示にとどまらず、自主的な情報開示を充実させ投資家の理解を促すとともに、建設的な対話を通じて相互理解を深めています。

アナリストや機関投資家に対し、四半期ごとに決算説明会を開催しています。2023年度には当社初のIR-Dayを実施し、各セグメントの責任者である役員から、事業概要・戦略・事業計画などを説明しました。IR-Dayは今後も継続して実施し、投資家の事業理解促進に努めていきます。

そのほか、投資家との個別取材対応や、証券会社主催のカンファレンスなど、機関投資家と直接面談を行い、業績や戦略の説明だけでなく、TOPPANグループに対する市場からの意見の把握も進めています。ESGに関するテーマの対話にも積極的に取り組み、対話を通じて得た投資家の意見を経営に反映しています。こうした取り組みを継続することで、2023年度の投資家との面談実績は年間約280件と前年度から大きく伸長し、株主・投資家との対話の強化につながっております。

このような開示～対話～経営へのフィードバックのサイクルを回すことで、グループ全体の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指しています。

ステークホルダーエンゲージメント

エンゲージメントのテーマと活動事例

お客さま
安全・安心な製品・サービスの開発・提供 ● 全国品質保証部門会議を中心とした品質の維持・改善活動 ● 情報セキュリティ管理徹底による個人情報保護 ● ユニバーサルデザイン製品・サービスの提案、デザイン改善支援 ● 生活者向け自社 Web サービスを通じた暮らしに寄り添う価値提供、継続的な改善
製品・サービスへのご意見をいただく機会づくり
● 日々の営業活動 ● 商材展示スペースへのご招待 ● 展示会・セミナーの開催、参加
社会的価値創造に向けた共創イノベーション
● 産学官連携による実証事業などの取り組みへの参画 ● オープンイノベーションプログラムの実施 ● 「Erhoeht-X®（エルヘートクロス）」によるデジタル化の提案・推進 ● 環境配慮型製品・サービスの提案 ● 「印刷テクノロジー」による社会価値創造提案スペース「PLAZA21」 ● 観光立国・地方創生に向けた共創・発信スペース「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」 ● 未来の生活者のくらし共創空間「L・IF・E（ライフ）」
ビジネスパートナー※
サステナブル調達のための取り組み ● TOPPANグループ サステナブル調達ガイドラインの協働推進 ● 人権リスク調査 ● 通報窓口「サプライヤーホットライン」の設置 ● 製品含有化学物質の管理 ● ビジネスパートナー向けBCPアンケート・勉強会 ● 紙の原料となる木材の合法性調査
公正かつ公平な取引機会の提供
● 取引基本契約・売買基本契約書の締結 ● 調達活動に関するビジネスパートナーへの聞き取り調査

※ サプライヤーや協力会社を「ビジネスパートナー」と表記しています

従業員
多様な人財の活躍支援 ● ダイバーシティ & インクルージョン推進方針の拡充、トップのコミットメント ● ダイバーシティマネジメント、アンコンシャスバイアス対策などのプログラム実施 ● 柔軟な働き方の実現に向けた各種勤務制度 ● キャリア申告、社内公募の実施
グループ内の各種情報共有
● 社長メッセージ発信 ● 従業員への各種アンケート ● グループ社内報「CONVEX」「CONVEX Online」「CONVEX International」 ● グループ人財開発委員会開催・情報連携
労使のパートナーシップ
● 全社および事業所単位での経営協議会 ● 労使共催イベントの実施 ● 個々の課題を協議する専門委員会 ● 労使「働きがい」推進委員会
労働安全衛生に関する情報提供、メンタルヘルス対策
● 安全推進体制の推進（全国・海外事業所との情報共有ネットワーク構築、安全対策の標準化） ● 安全道場の実施、情報配信、共有化（国内外拠点での体感キャラバン、研修、定期ニュース配信など） ● 3D ストレスチェック&ケア® ● メンタル不調再発防止のための復職判定プログラム ● カウンセリングルームの設置
人権課題対策
● TOPPAN グループ・ヘルプラインの設置 ● 人権リスク調査

株主・投資家
財務状況の情報開示、TOPPAN グループの活動状況・計画の説明 ● 株主総会 ● 統合レポート、株主通信 ● 決算説明会 ● コーポレートサイトでの IR 情報開示 ● 機関投資家個別ミーティング・説明会 ● ESG 評価機関からのアンケート対応 ● TOPPAN IR-Day

社会・地域社会
ご意見・ご要望の把握 ● 問い合わせ窓口の設置・対応
芸術文化を支援する活動
● 印刷博物館 ● トップアンホール ● グラフィックトライアル
地域の環境を守る活動
● 定期的な周辺地域の美化・清掃活動 ● 生物多様性イベント
地域との交流
● 工場見学会の実施 ● 社内イベントへの招待
NGO / NPO との協業
● 識字能力向上支援「TOPPANチャリティーコンサート」 ● 障がい者自立支援「可能性アートプロジェクト」 ● SDGs 教育支援「ミライーね!」

行政・自治体
防災の取り組み ● 地域防災・消防活動への参加
地域活性化の取り組み
● 本業を通じた行政支援 ● 地域祭事への参加
社会課題の解決や政策推進のための情報提供
● 環境・まちづくりに関する講演会等の実施 ● 政府統計など、調査・アンケートへの協力 ● 官公庁・自治体への技術紹介や関連イベントの開催・参画